

2022 年度 TSR 総合調査企業を対象とする調査(結果概要)

1. 調査概要

- (1) 調査実施時期:2022年8月1日～9月9日(8月31日公式締切。その後、郵送到着分含む)
- (2) 調査対象:過去5年間本学卒業生の採用実績がある企業・団体・官公庁等1,055社等
- (3) 調査方法:郵送依頼による郵送回収または専用URLによるWeb回答

2. 調査結果

- (1) 回答数:206件(回収率:19.5%、前年20.0%)  
(内訳)郵送回答97件(47.1%)、Web回答109件(52.9%)

(2) 回答企業・団体等の内訳:

- ① 業種:回答数の多い業種上位5業種は、「サービス業」(22.8%)、「卸・小売業」(22.3%)、「情報通信業」(17.5%)、「医療・福祉」(11.7%)、「官公庁」(9.7%)であった。
- ② 従業員数:回答件数の多い順に、「100人～500人未満」(26.7%)、「1,000人～5,000人未満」(22.3%)、「500人～1,000人未満」(18.4%)、「5,000人以上」(11.7%)、「50人未満」・「50人～100人未満」(9.7%)であった。
- ③ 所在地:上位4位までに一都三県が並び、順に、「東京都」(59.2%)、「埼玉県」(7.8%)、「千葉県」(6.8%)、「神奈川県」(5.3%)と、一都三県で約80%を占める。

(3) 結果概要:

① 本学卒業生は人材ニーズや期待に込えているか(「十分」+「ある程度」=85.5%、昨年度83.3%)

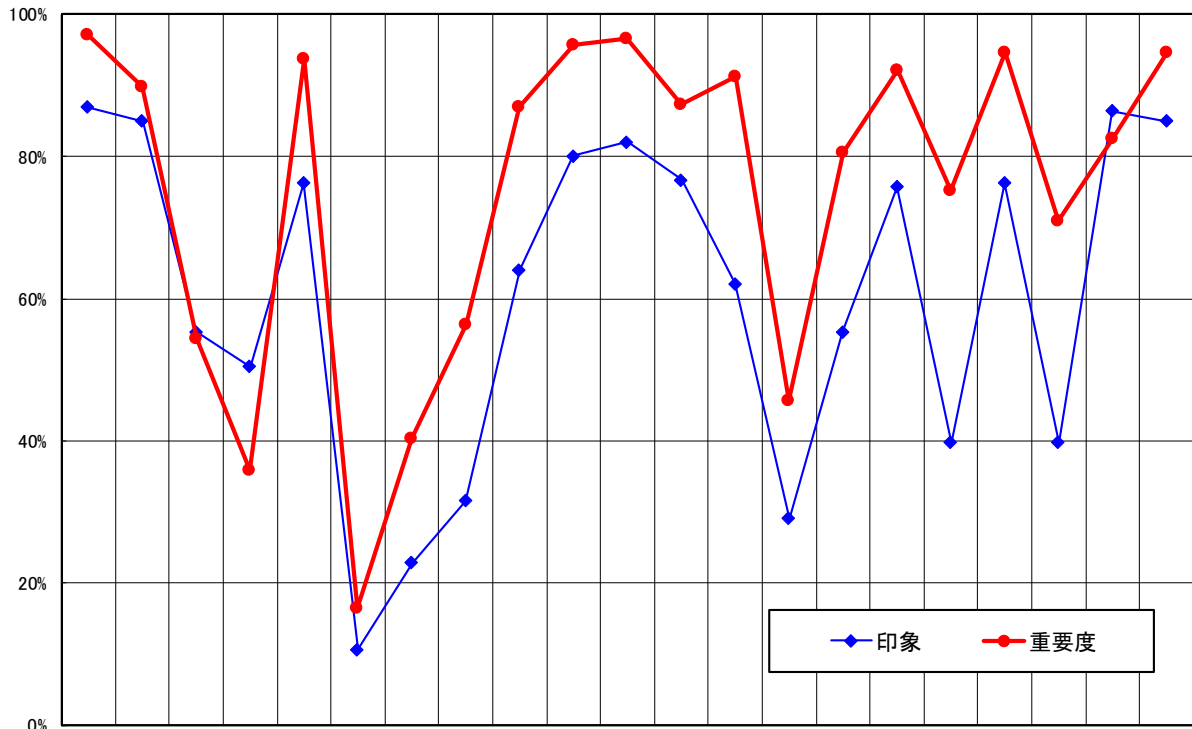
1. ⑤十分込えている	84	( 40.8)							
2. ④ある程度込えている	92	( 44.7)							
3. ③どちらとも言えない	19	( 9.2)							
4. ②やや不足込ている	4	( 1.9)							
5. ①かなり不足込ている	1	( 0.5)							
6. ⑥わからない	5	( 2.4)							
7. 無回答	1	( 0.5)							
合計	206	( 100.0)	0	20	40	60	80	100%	

② 本学卒業生の能力(「かなり高い」+「やや高い」=57.0%、昨年度56.2%)

1. ⑤総合的に見て、かなり高いと感じる	30	( 14.6)							
2. ④総合的に見て、やや高いと感じる	108	( 52.4)							
3. ③どちらとも言えない	58	( 28.2)							
4. ②総合的に見て、やや低いと感じる	4	( 1.9)							
5. ①総合的に見て、かなり低いと感じる	1	( 0.5)							
6. ⑥わからない	4	( 1.9)							
7. 無回答	1	( 0.5)							
合計	206	( 100.0)	0	20	40	60	80	100%	

③ 本学卒業生の印象等と新卒採用での重要度(ポジティブな回答を合算した比率)

企業が考える重要度と本学学生の印象では、多くの項目で、重要度より印象の方がネガティブな傾向にあるが、その中でも、特に、差が20%以上大きい項目は順に、「17リーダーシップや部下指導」(35.4%)、「18チームワークや人間関係」(31.1%)、「13柔軟な対処」(29.1%)、「15仕事全般への幅広い興味」(25.2%)、「8データを活かした問題解決」(24.8%)、「9困難な問題に取り組む能力」(22.8%)であった。一方で、重要度よりも本学学生の印象がポジティブな項目は3項目あり、順に、「4専門知識」(14.6%)、「20人柄が温厚」(3.9%)、「3幅広い教養」(1.0%)であった。なお、これら傾向は、昨年度までの調査と比較して大きな傾向の変化はない。



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	いる身だしなみや言葉遣いなど社会常識を身につけている	基礎的な知識や読み書きなどの基礎能力を身につけている	幅広い教養を身につけている	大学での専門知識を身につけている	業務上のコミュニケーション能力を身につけている	外国語の能力や国際的な感覚を身につけている	ITスキルを身につけている	調査や分析等のデータを活かして問題解決する能力を身につけている	困難な課題に取り組む能力を身につけている	業務に積極的に取り組む姿勢がある	業務に責任感をもって取り組む姿勢がある	倫理観をもって業務を遂行する	様々な業務上の課題に対して、柔軟に対処する	独創的なアイデア等を持っている	担当する業務だけでなく、仕事全般に対し、幅広い興味・関心を持っている	顧客や相手の立場になって考えたり、行動することが出来る	職場でリーダーシップを発揮する、あるいは、部下指導などに優れている	円滑なチームワークや健全な人間関係を築くことができる	中長期視点から自分のビジョンやキャリアを考えている	人柄が温厚である	人柄が信頼出来る
印象	86.9	85.0	55.3	50.5	76.2	10.7	22.8	31.6	64.1	80.1	82.0	76.7	62.1	29.1	55.3	75.7	39.8	76.2	39.8	86.4	85.0
重要度	97.1	89.8	54.4	35.9	93.7	16.5	40.3	56.3	86.9	95.6	96.6	87.4	91.3	45.6	80.6	92.2	75.2	94.7	70.9	82.5	94.7

④ 今後の本学卒業生の採用に関する所感(「大変積極的」+「ある程度積極的」=47.6%、昨年度 45.2%)

1. ⑤他の大学よりも、大変積極的に、求人・採用を考えたい	47	( 22.8)	██████████						
2. ④他の大学よりも、ある程度積極的に、求人・採用を考えたい	51	( 24.8)	██████████						
3. ③他の大学と同様のレベルで、求人・採用を考えたい	74	( 35.9)	██████████						
4. ②他の大学よりも、やや消極的に、求人・採用を考えたい	0	( - )							
5. ①他の大学よりも、大変消極的に、求人・採用を考えたい	1	( 0.5)							
6. ⑥大学名や卒業生の印象で採用を判断していないため、何とも言えない	28	( 13.6)	██████████						
7. ⑦その他	4	( 1.9)	██████████						
8. 無回答	1	( 0.5)	██████████						
合計	206	( 100.0)	0	20	40	60	80	100%	

⑤ 本学就職支援活動への所感(「大変熱心」+「ある程度熱心」=55.8%、昨年度 60.5%)

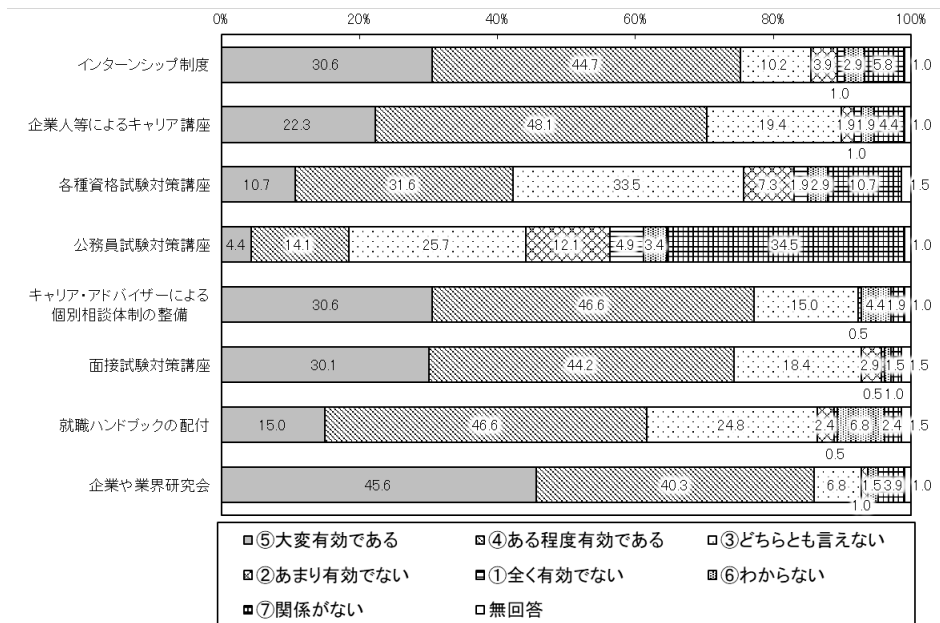
1. ⑤大変熱心だと感じる	69	( 33.5)	██████████						
2. ④ある程度熱心だと感じる	46	( 22.3)	██████████						
3. ③どちらとも言えない	51	( 24.8)	██████████						
4. ②あまり熱心だとは感じない	7	( 3.4)	██████████						
5. ①全く熱心だとは感じない	0	( - )							
6. ⑥わからない	32	( 15.5)	██████████						
7. 無回答	1	( 0.5)	██████████						
合計	206	( 100.0)	0	20	40	60	80	100%	

⑥ 本学の採用担当者向け HP の利便性(「大変」+「やや」=66.7%、昨年度 48.0%)

1. ⑤大変そう思う	18	( 16.7)							
2. ④ややそう思う	54	( 50.0)							
3. ③どちらとも言えない	33	( 30.6)							
4. ②あまりそう思わない	0	( - )							
5. ①全くそう思わない	0	( - )							
6. ⑥他大学のページを見ていない	1	( 0.9)							
7. 無回答	2	( 1.9)							
合計	108	( 100.0)	0	20	40	60	80	100%	

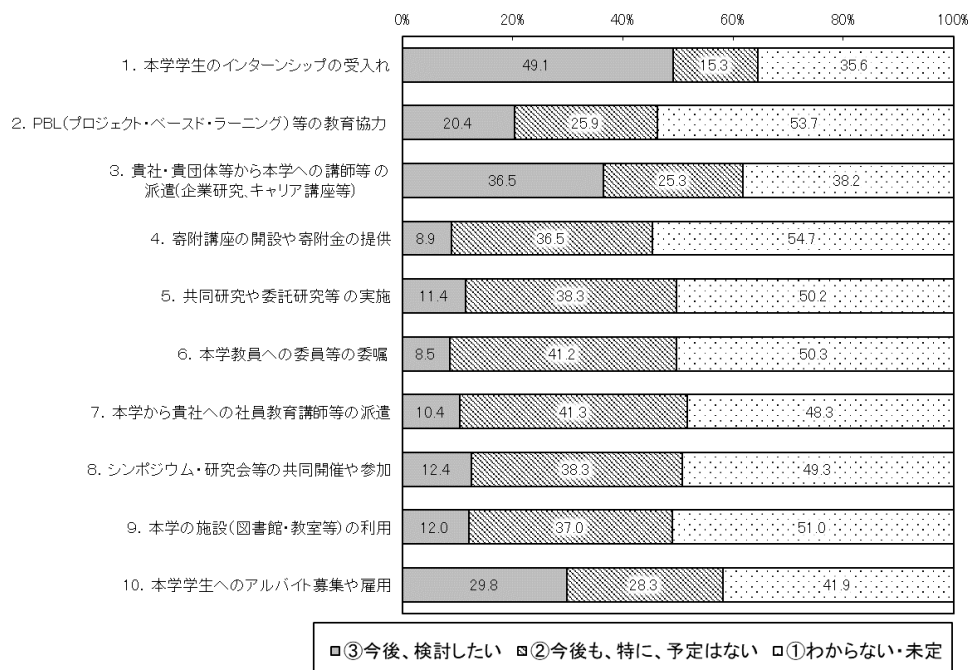
⑦ 大学が取り組んでいる就職支援活動の新卒採用への有効度

有効度のポジティブの割合が70%を超えるのは、高い項目から順に、「企業・業界研究」(85.9%)、「キャリア・アドバイザーによる個別相談」(77.2%)、「インターンシップ」(75.2%)、「面接試験対策」(74.3%)、「企業人によるキャリア講座」(70.4%)であった。昨年度とほぼ同様の傾向であるが、「企業・業界研究」の有効度が常に最も高い傾向にある。



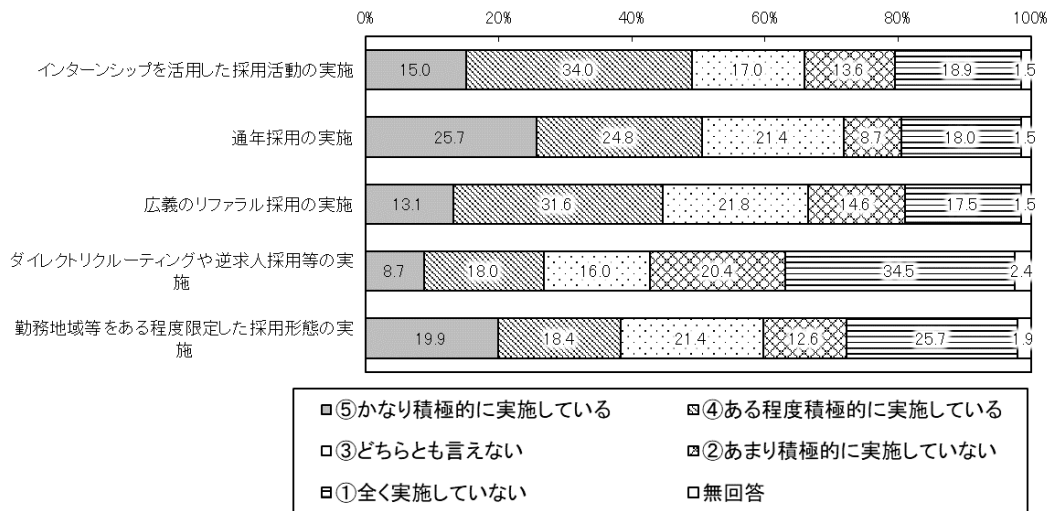
⑧ 今後の本学との交流に関する所感<これまで実績がない企業>

昨年度とほぼ同様の傾向であったが、全項目で割合が増加した。特に、昨年度比で5%以上増加した項目は、多いものから順に、「PBL等の教育協力」(6.6%)、「学生のアルバイト雇用」(6.4%)、「講師等の派遣」(5.6%)、「インターンシップ受け入れ」(5.9%)であった。

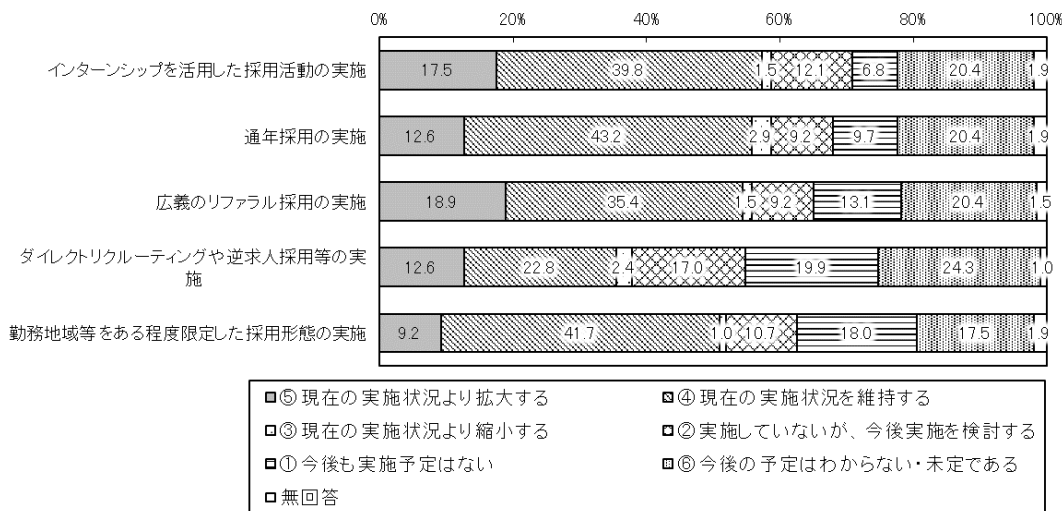


### ⑨ 新たな人材採用形態の実施実績と今後の展望

＜実施実績＞昨年度の比較では、ポジティブな回答の合計は、「通年採用」「ダイレトリクルーティング」「勤務地を限定した採用」は横ばいであり、「インターンシップ活用」は減少し、「リファラル採用」のみが増加した。



＜今後の展望＞昨年度との比較では、全ての項目で「現在の実施状況より拡大する」が増加した。



### ⑩ 新型コロナウイルス感染症の影響

3年度の対比では、「大きな影響を受けている」の割合は減少傾向を続けているが、「大きな影響を受けている」と「ある程度影響を受けている」の合計の割合では、昨年度と変わっていない。

